

新保磐次著
日本讀本
郡村用
六

館誌
171
7
307
五六三
八册 號 架 函

檢定申請本

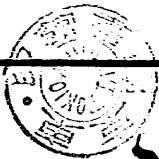
K120.8
45
6

K120.8

45

6

W214549



新保磐次著



日本讀本 郡村用 六



東京 金港堂藏版



水ノユクへ。

着物 洗濯 娘 掛 糊 空 曇

雷 加 簾 集 溝 尋 遂 増 減

晴レ渡リタル夏ノ朝ニ母ハヨゴレタル
着物ノ洗濯ヲ初メケレバ娘ハ母ノ手傳ヘ
ヲナシケリ。洗濯シタル着物ハ皆竿ニ掛
ケシガ夏ノ日ナレバ干ルコト早クシテ晝
頃ニハ大方干上リタリ。

イザ是レヨリ糊ヲセント用意シケルニ、

空タチマチ曇リ雷ノ聲サヘ加ハリテ見ル
 間ニ大雨トナリ軒ヲツタフ水ハサナガラ
 がらすノ簾ヲ掛ケタルガ如シ。其ノ水ハ
 集マリテ溝ニ入り低キ方ニ流レ行ク。娘
 ハ母ト共ニ洗濯物ヲ疊ミツツ母ニ尋ヌル
 ヤウ母上雨ノ水ハ河ニ入り河ノ水ハ遂ニ
 海ニ入ルト讀本ニテ學ビタリ。サレバ海
 ハ一雨一雨ニ水増シテ遂ニハココラノ土
 地ニモ上ルベキニサルコトノナキハ何故

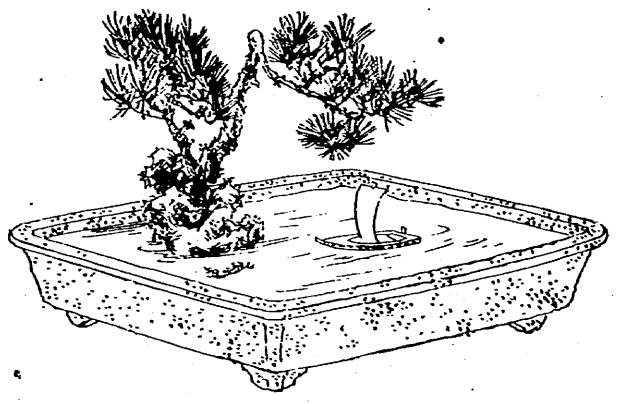
ゾ。

「サレバナリ洗濯シタル着物ノ干ル時其
 ノ水ハイヅコニ行クト思フヤ。目ニコソ
 見エ子ユゲトナリテ空ニ上リテ雲トナル
 ナリ。スベテ物ノ干ルハ皆カクノ如シ。
 サレバ海ノ水モ常ニ空ニ上リテ雲トナル
 雲ハ又雨トナリテ返リ來ルコトナレバ海
 ノ水ハ増シモセズ減リモセザルナリ。」

島陸岸

真中 花崗石遊 堅 水晶 浮
考 普請 壁 掘 跡 積 重
僅 大切 庭 損 景色 悲 喜
放 降 向 廣大 乘 陸 島
岸 田舎 珍 貝 地理書

水鉢ノ真中ニ岩アリテ、水ノ上ニ其ノ頭
ヲアラハセリ。鉢ハ花崗石ト云フ石ニテ
作ラレタリ。水ノ中ニハ小サキ魚遊ビ、岩



ノ上ニハ短キ松生ヒ
タリ。花崗石ハ堅キ
石ニシテ、水晶ノ如ク
光ル物一面ニアリ。
太郎ハコノ鉢ヲみか
げノ池ト名ヅケ、岩ヲ
松島ト名ヅケテ、小サ
キ舟ヲ浮ベテ樂シメ
リ。太郎ハイカニシ

テカク面白キ名ヲ考へ出シシカ。

先日コノ家ニ普請アリテ壁土ヲ掘り取
リシガ、跡ニ穴ヲノコシタリキ。太郎ハ其
ノ真中ニ土ト石ヲ積ミ重子テ山ヲ作り、山
ノ上下ニ草花ヲ植エテ遊ビシニ、其ノ夜大
雨フリテ、穴ノ中ニ水タマリ、山ハ僅ニ頭ヲ
アラハスノミナリキ。

太郎ハ一夜ノ雨ニヨリテ大切ノ庭ヲ損
ゼシヲ悲ミテ止マザリシヲ、其ノ母教ヘテ

曰ヒケルヤウ「太郎悲ムナ。雨ハ汝ガ庭ツ
キノ手傳ヘヲナシタリ。見ヨ、コノ穴ニハ
水タマリテ、オノツカラ池トナレリ。山ノ
頭ガ水面ニ出デタルハ島ナリ、島ノ上ニハ
色色ノ草花生ヒタリ。汝ガ山ノ下ニ植エ
タル草ハ今水ノ底ニアリテ水草トナレリ。
面白キ景色ニハアラズヤ。

太郎ハ初メテ大キニ喜ビ、水ノ中ニ小鮒
ヲ放チ、板切レニテ作りタル小舟ヲ浮ベナ

ガラ「雨雨降レヤ、小池ノ水ノカワカ又中ニ
ト歌ヒツツ樂シミシガ、母ニ向ヒテ曰ヒケ
ルヤウ、生長ノ後大キナル池ヲ掘リ、大キナ
ル鯉ヲ放チテ遊バン。」

母又曰ヒケルヤウ「汝ハ日本讀本ヲ讀ミ
テ湖及ビ海ヲ學ビシナラン。海ガ此ノ國
ヲ取り卷クコトヲモ聞キシナラン。海ハ
甚廣大ナル水ニシテ、其ノ中ニハ多クノ島
アリ。ワレ等ガ住メル日本國モ亦海ノ中

ノ大キナル島ナリ。スベテ水ノ下ニアラ
ザル地面ヲ陸ト云フ。川、池、湖、海等ハ陸ニ
アラズ。川、池、湖、海等ノ水ギハナル陸ヲ岸
ト云フ

陸地ニハ山國アリ、海國アリ、都會モアリ、
田舎モアリ、或ハ珍シキ鳥獸、草木、魚貝アリ、
或ハ美シキ店廣大ナル學校等アリ。汝學
校ニテ地理書ヲ學ブ時ニ之ヲ知ルベシ。

皮膚。

面 肩 腹 皮膚 觸 熱 冷
 痛 膝 蜂 蚊 指 滑 砂 粗
 痒

面、肩、腹、背ヲ始メ皮ヲカウフレル所ヲス
 ベテ皮膚ト云フ

人ノ皮膚ハ様様ノ事ヲ知レリ。皮膚ハ
 火ニ觸ルレバ其ノ熱キヲ知リ、氷ニ觸ル
 レバ其ノ冷カナルヲ知ル。皮膚ヲ針ニテ

ツカルレバ痛ク、仆レテ腰膝ヲツケバ亦痛
 シ。蜂ニササルレバ痛ク、蚊ニササルレバ
 痒シ。又リ物ヲナヅレバ指ハ其ノ滑カナ
 ルヲ知リ、しやぼんヲナデテモ亦滑カナ
 ルヲ知ル。砂ヲナヅレバ其ノ粗キヲ知リ、土
 ヲナデテモ亦其ノ粗キヲ知ル。

モシ皮膚ノシビルル時ハ熱キト冷カナ
 ルヲ知ラズ、滑カナルト粗キヲ知ラズ、痛キ、
 痒キヲモ知ラザル故、オボエス手足ヲ焚キ

或ハ破ルコト甚多カラシ。皮膚ヲハ大切ニスベシ。

鼻。

鼻香 蜜柑 柚 藥味 山椒
芥子 香料 葱 蒜 臭 毒
腐 嗅

香ヒノ良キ者ハ先梅ノ花ナルベシ。桃

ノ花ト梅ノ花トイヅレカ香ヒ良キヤ。

食物ニ香ヒ良キ者アリ。蜜柑、金柑、柚ハ果ノ中ノ香ヒ良キ者ナリ。人ハ蜜柑ノ實ヲ食ヒ、其ノ皮ヲ藥味ニ用フ。金柑ハ皮モ食ハレ、實モ食ハル。柚ノ皮ハ藥味ニ用ヒラル。山椒、山葵、芥子、落ノど、ウモ亦良キ藥味ナリ。藥味ヲバ香料トモ云フ。葱、蒜等ハ臭ケレドモ亦良キ香料ナリ。是レ等ノ臭キハ毒ナル物及ビ腐リタル物ノ臭キト

ハ大ニコトナリ。

鼻ハ嗅ギテ其ノ香ヒノ良キヲ知リ、亦其ノ臭キヲ知ル。オヨソ臭キ者ハ肉ノ腐リタルヨリ甚シキハナシ。モシ鼻ガ臭キヲ知ラザルナラバ、人ハ腐リタル肉ヲモ知ラスシテ食フコトアルベシ。

稻虫。

暑 益 堪 炎天 強 順 水草
豐年 更 油斷 害 種類 穗
過 暗 死 唯 殺 石灰 硫黃
石油 株

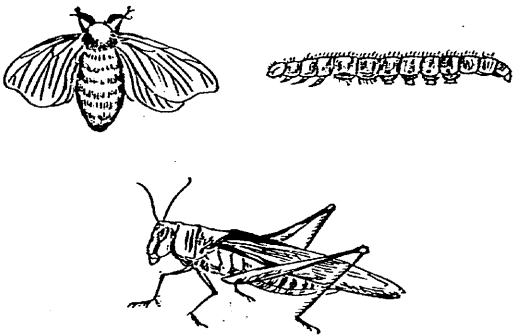
今ハ早七月ノ半ナリ。梅雨ハナゴリナク晴レ、暑サハ益ツノリテ一日扇ヲツカヒテ遊ビクラスモナホ堪ヘガタキニ、日中炎天ニ出デテ田ノ草ヲ取ル農夫ノ強サヨ。此ノ月ノ二十日ノ頃ヨリ十八、九日ノ間ハ

土用トテ暑サノ最強キ時節ナリ。今年ハ
風雨順ニシテ水旱ノ害ナク、人人皆豊年ヲ
樂シミ合ヘリ。

サレドモ十吉ノ父ハ心得アル農夫ナリ
ケレバ、更ニ油斷スルコトナク常ニ十吉ニ
教ヘテ云フヤウ、暑サ強ク風ナキ年又ハ梅
雨ノ中ニ雨少ク土用ニ入りテ雨多キ年ニ
ハ稻虫ノ生ズルモノナリ。稻ヲ害スル虫
ニハ種種アリ、うんか又ハばつたト云フハ

いなごノ種類ニシテ集マリ飛ビテ穂ヲ食
フ虫ナリ。此ノ虫集マリ飛ブ時ハ其ノ聲
雷ノ如ク、其ノ過ギタル跡ハ草木青葉ナキ
ニ至ルト云フ。

此ノ虫ヲ取ルニハ暗キ夜火ヲ焚クナリ。
虫ハ火ヲ見テ其ノ中ニ飛ビ入りテ死ス。
飛ンデ火ニ入ル夏ノ虫トハ此ノ事ナラン。
常ニ唯稻虫トヨブ虫ハ又ズハむトモ
名ヅケラレテ、六足蟲ノ一種ナリ。此ノ虫



ハ稻ノ葉ノ面ニ生マ
レ、皮ノ中ニ食ヒ入リ
テ莖ヲ食ヒ付ス故ニ
害最甚シ。之ヲ殺ス
ニハ田ニ水ヲタダヘ
テ石灰、硫黄又ハ石油
ナドヲ蒔クナリ。其
ノ已ニ蝶ニ化セル者
ヲバ亦かがり火ニテ

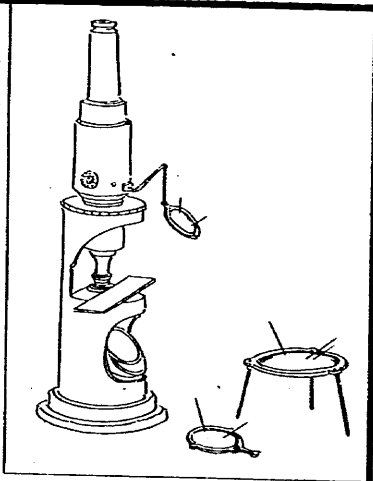
焚キ殺スベシ。又一タビ稻虫ニカカリタ
ル稻ノ株ヲバ其ノ冬ノゴリナク掘り取ル
ベシ。

虫目鏡。

留守 目鏡 縫 元 居 勞 蠅
 忍 驚 不思議 受 筋 節 暮
 仕掛 病

今日ハ朝ヨリ父モ母モ兄モ姉モ田ノ草
取りニ出デ行キタリ。家ニハ祖母ト十吉
おとめノ子共等バカリ留守ヲナセリ。祖
母ハ目鏡ヲカケテ縫ヒ物ヲナシ子共等ハ
其ノ膝元ニ遊ベリ。

祖母ハ勞レタリケン目鏡ヲハヅシテ休
ミタリ。子共等ハ遊ビニ厭キテおとめハ
膝ノ上ニ止マリシ蠅ヲトラヘ祖母ノ目鏡
ニスカシテ之ヲノゾキ見忽驚ケル様ニテ



「あら不思議蠅ガ大キ
クナリ蠅ノ手足ニハ
毛ガ生ヒタルヨ。是
レ見タマハトテ十吉
ニ渡シケレバ十吉ハ
受取リテ之ヲノゾキ實ニ實ニ。羽ノ筋モ
足ノ節モ數ヘ得ベシトテソレヨリ種種ノ
虫ヲ取り來リテハ之ヲ目鏡ニテ見ツツ一
日面白ク遊ビ暮ラシケリ。

汝等ハ虫目鏡ト云フモノヲ知ルカ、其レ
ハ祖母ノ掛ケシ如キ目鏡ヲイクツモ筒ノ
中ニ仕掛ケタルモノナリ。モシ此ノ目鏡
ニテ蠅ヲノゾキシナラバ其ノ驚キハ更ニ
大ナリシナラン。此ノ目鏡ニテノゾクナ
ラバ蠅ノマツゲヲモ數ヘ得ベシ。又針ノ
先ニ付キタル水ノ中ニ數百ノ虫ノウゴメ
クヲモ見得ベシ。此ノ目鏡ハ蠶ノ病ナド
ヲ見ルニ要用ナル者ナリ。

生物。

或 鱗 游 伸 縮 這 避

動物 異 運動 生活

獸ハ四本ノ足ヲ以テ走り。鳥ハ二枚ノ
羽ヲ以テ飛ビ、或ハ二本ノ足ヲ以テ歩ム。
魚ハ尾ト鱗ヲ以テ水中ニ游グ。多クノ虫
ハ其ノ身ヲ伸縮メテ以テ地ヲ這フ。

是レ等ノ者ガ食ヲ見出ダス時ハ或ハ走
リ或ハ飛ビ或ハ游ギ或ハ這ヒテ以テ之ヲ
取ル。其ノ害ヲ見ル時ハ亦走リ飛ビ游ギ
這ヒテ以テ逃グ。

是レ等ノ物ハ皆其ノ好ム所ニシタガヒ
テ動クガ故ニスベテ之ヲ動物ト云フ。汝
等ハ動物ト植物ノ異ナル所ヲ知レリヤ。
汝等ハ植物ノ根ガ肥料ヲ吸フコトヲ知
レルナラン。

植物ハ運動スルコトヲ得ザレドモ食物
ヲ取リテ生活スルコトハ動物ニ同ジ。故
ニ動物ト植物ヲ合ハセテ生物ト云フ。

池ヲ掘ル。

匹 貯 釣 養 思 汲 井 滿
能 盡 及 翌 日

二人ノ子共アリ川ニ行キテ四五匹ノ魚

ヲ釣リ得タリ。池ヲ掘リテ魚ヲ養ハント
思ヒテ二人カヲ合ハセ、鍬ヲ以テ一坪ホド
ノ池ヲ掘リヌ。サテ之ニ水ヲ貯ハヘント
テ井ノ水ヲ桶ニ汲ミテ持チ來リ、池ノ中ニ
滿タレテ、魚ヲ入レタリ。初メノホドハ魚
モ水ヲ得テ心地ヨゲニ游ギシガ、見ル中ニ
水ハ次第次第ニ減リ行キテ魚ノ游グコト
能ハザルニ至レリ。二人ノ子共ハ大ニ驚
キ又モ桶ニテ井ノ水ヲ持チ來リテ滿タシ

シガ、是レモ又シバシニシテ盡キヌ。子共
モ今ハセン方ナシトヤ思ヒケン魚ヲ巴川
ニ放チヤリヌ。

井戸ノ水ハ汲メドモ盡キザルニ、子共等
ノ掘リタル池ノ水ハ滿タセドモ滿タセド
モ盡キタリ。子共ハイカニ考フルモ其ノ
故ヲ思ヒ得ザリケレバ、翌日學校ニ行キテ
コレヲ先生ニ問ヒケリ。先生ハ喜ビテ子
共ニ其ノ故ヲ咄シ聞カセケリ。

井戸ヲ掘ル。第一

答殿丸張返畚天秤
 捨場殆隱暫言如何
 爲詞續深穴最早縁
 結底後交含滴側据
 工事

其ノ時先生ハ二人ノ子共ニ向カヒテ問
 ヒケルハ「汝等ハ井戸ヲ掘ルヲ見シコトア
 リヤ。」



子共ハ答ヘテ「然リ、
 昨日東作殿ノ井戸ヲ
 掘ルヲ見キ。」
 先生ハ一人ノ子共
 ニ向カヒテ「然ラバ汝
 井戸掘リノ咄シヲナ
 スベシ。」
 一人ノ子共答ヘテ
 曰ハク「先地面ニ丸ク

繩ヲ張り一人ハつるのはしヲ持チテ土ヲ掘リ返シ一人ハ鍬ヲ以テ其ノ土ヲ集メテ畚ニ入ル。外ニ二人ノ人アリテ天秤ニテ之ヲ荷ナヒテ土捨テ場ニ捨ツ。カク次第ニ掘リ下ゲテ殆腰ノ隠ルルニ至レリ。先生ハ暫シト止メテ今一人ノ子共ニ言ヘルヤウ其ノ時掘リタルハ如何ナル土ナリシカ。

子共答ヘテ曰ハク畑ノ土ト異ナル事ナ

カリキ。

先生ハ又前ノ子共ニ向カヒテソレヨリ如何ニ爲リシカ。

子共ハ詞ヲ續ギテ穴ハ次第ニ深クナリテ最早畚ヲ荷ナヒテ穴ヲ出ヅルコト能ハザレバ二人ハ穴ノ縁ニ立テ畚ニ二本ノ繩ヲ結び付ケテ穴ノ底ニ下セバ鍬ヲ持チタル人ハ此ノ中ニ土ヲ入レテ聲ヲ掛ク。聲ヲ聞キテ上ナル二人ハ畚ヲ引キ上グルナ

リ。

先生ハ今一人ノ子共ニ向カヒテ其ノ時
引キ上ゲタルハ如何ナル土ナリシカ。

子共答ヘテ曰ハク地面ニ腰ノ隠レシヨ
リ後ハ畑土ノ如キハ盡キテ小石交ジリノ
土トナリ水ヲ含ムコト次第ニ多クナリ引
キ上グル畚ヨリ水ノ滴タルニ至レリ。是
レヨリ一鍬一鍬ニ水増シケレバ井戸側ヲ
ハメ井筒ヲ据エテ井戸掘リノ工事ハ終ハ

リ又ト咄シケリ。

井戸ヲ掘ル。第二

靜 通 賞 湧 粘土 流 砂石
幾度 容易 込

先生ハ子共等ノ咄シ様靜ニシテ手順良
キヲ賞シ叔云フヤウ汝等ハ井戸掘リヲ見
テ多クノ事ヲ學ビ得タリ。畑ノ如キ土ハ

地面ヨリ三四尺ニ止マリ、其ノ下ニハ小石交ジリノ土アルコトヲ知レリ。

畑ノ土ハ場所ニヨリテ異ナリ、粘土アリ、砂土アリ、又石灰ヲ多ク含ミタル石灰土アリ。汝等已ニ學ビシ如ク雨ノ水ハ流レテ川ニ入り湖ニ入り、又海ニ入ル。然レドモ流レ行カズレテ地中ニ吸ヒ込マルルモノ亦多シ。地中ニ吸ヒ込マレタル水ハ畑土ヤ小石交ジリノ土ヲバ容易ク通り過グ

レトモ、其ノ下ニハ甚堅キ粘土又ハ岩アリテ底ノ如ク、雨水ハ是レヨリ下ニ通り過グルコト能ハズ。故ニ小石交ジリノ土ヨリ下ニハ水氣ヲ含ムコト多ク益掘リテ岩ニ近ヅケバ水湧キ出ヅルナリ。

汝等ノ掘リタル池ハ淺クシテ水ノアル所ニ至ラザル故ニ水モ湧カズ、又水ヲ満タスモ底ナキ桶ニ水ヲ入ルルガ如シ。故ニ幾度満タシテモ忽盡キタルナリ。

空氣。

給 團扇 袖 急 空氣 猶 善
波 起 新 身體 惡 只 宜
汚 透 息 窓

母上ハコノ暑キ日ニ縫ヒ物ヲシ給フカ。
サゾ暑カラン、扇ギマ井ラセン。 團扇ニテ
扇ゲバ、風ノ出ヅルハ何故ナラン。 私ノ思
フニハ、團扇ノ中ニ風ガアルナラン。
然ラズ團扇ノ中ニイカデカ風アラシ。

今汝ガ袖ヲ急ニ動カシテ見ヨ。 ソレ風カ
出ヅルナラン。 又汝ガ手ヲ急ニ動カシテ
見ヨ。 ソレ亦風ガ出ヅルナラン。

汝ハ學校ニテ空氣ガ善キ、空氣ガ惡シキ
ト云フコトヲ聞キシカ。 汝ノ回リニハ空
氣ト云フ目ニ見エザル者アリ。 團扇ヲ動
カシ、袖又ハ手ヲ動カセバ空氣モ動ク。 空
氣ハ動キテ人ノ身ヲ吹き、又木ノ葉ヲ動カ
ス。 今風吹キテ、庭ノ木ノ葉ヲ動カスハ空

氣ノワザナリ。空氣ハがらすヨリモ猶善ク透キ通リタル者ナレバ、人ノ目ニハ見えナリ。

空氣ハ汝ガ回リニアルノミナラズ、母ガ回リニモアリ。空氣ハ亦コノ家ノ内イヅコニモ満チテアリ。只家ノ内ノミナラズ、家ノ外ニモ、アノ山ノ上ニモ、空氣ナキ所ハ無シ。

人ガ空氣ノ中ニ住ムハ、魚ガ水ノ中ニ住

ム如シ。汝棒ニテ水ヲ動カシテ見ヨ、水動キテ波ヲ起コサン。水ノ動クトキハ、魚ハ風ガ吹クト思フナラン。

人ハ息ヲスル毎ニ空氣ヲ吸ヒ込ミ、身體ノ汚ナキ物ヲ取ラセテ之ヲ吐キ出ダス。故ニ人ノ多ク集マリタル家ハ、空氣忽汚クナル。空氣ノ汚キハ身體ニ宜シカラズ。故ニ學校ニテハ時時窓ヲ開キテ新シキ空氣ヲ入ルルナリ。農夫ハ常ニ野ニ出デテ

新シキ空氣ヲ吸フガ故ニ農業ハ最養生ニ
宜シキ職業ナリ。

收納。

願 恐 無事 賑 鎮守 祭禮
行 働 急 晴天 刈 收納 磨
學問 燈火 友 勉強 機 織
專 調 置

「キノフコソ

サナヘ取リシカ。イツノマニ

イナバソヨギテ秋風ノ吹ク。

梅田村ニハ水旱虫害モナクシテ七月ハ

月ヲ過ゴシケリ。今ハ稻ノ花モ出デタレ

バ農夫ハ皆大風ノ吹カザレト願フナルベ

シ。サレドモ八月ノ末ヨリ九月ノ半頃マ

デハ一年中大風ノ最多キ時ナリ。二百十

日、二百二十日トテ農夫ノ最恐ルルハ此ノ

時ナリ。八月三十一日ハ立春ヨリ二百十日目ニ當ルナリ。

今年ハ二百十日モ風吹カズ無事ニ過ギタリ。豊年ノコトナレバ賑ハシク鎮守ノ祭禮ヲ行ハントテ用意シキリナリシガ、梅田村ノ祭禮ハ秋季皇靈祭ト同ジ日ニテ其ノ日ハ家毎ニ國旗ヲ立テ業ヲ休ミテ樂シク遊ビ暮ラシケリ。「善ク働キテ善ク遊ブ。ホド樂シキモノハアラジ。」

十月ハ稻ノ取り入レトテ農夫ノ最急カシク亦最喜バシキ時ナリ。此ノ項ハ晴天打チ續キテ稻ヲ刈ルニヨキ時ナリ。上田氏ノ田ハ他人ノ田ヨリモ心ヲ用ヒテ耕作シタリケレバ其ノ收納モ亦他ヨリ多シ。十吉ガ父ト共ニ稻ヲ刈リ取り、數日ノ間日ニ干シ、穂ヲコキテ扱トシ、之ヲ磨リテ粃皮ヲ去リ、俵ニ入レテ積ミ上ゲタル時ハ村人コゾリテ驚キケリ。

農事已ニ終ハリ學問スルニヨキ時節トナリタレバ十吉ハ晝ハ學校ニ行き夜モ亦燈火ヲ友トシテ勉強セリ。母親ハ晝ハ機織リ、夜ハ縫ヒ物ヲ專トシ、おとめニモ其ノ業ヲ教ヘケリ。春夏秋ハ農事ニ急ガシケレバ、心得アル農家ノ女ハ冬ノ間ニ年中ノ衣服ヲ調ヘ置クナリ。

見物。第一

旅人 傘 手拭 足袋 下駄 股
 引 脚半 見物 畔 蓑 弓 矢
 射 危 彼 非

數人ノ旅人田舎道ヲ行ク。笠ヲ被リ、草鞋ヲハキタル人アリ。頭ニ手拭ヲカブリ、笠ヲ背ニ掛ケタル人アリ。傘ヲサシ、足袋ト下駄ヲハキタルモアリ。或ハ股引、脚半ト半天ヲ着タルモアリ。



コレハ田舎ノ人が
東京見物ニ往クナラ
ン。今年ハ豊年ナリ
シ故、此ノ人人ハ秋ノ
仕事ヲ終ヘテ、見物ニ
出掛クルナラン。如
何ニ樂シキ事ナラズ
ヤ。勉強ヲ終ハリテ
遊ブホド樂シキコト

ハナシ。

アレ見ヨ、何者カ田ノ畔ニ立ち、笠ヲカブ
リ、蓑ヲ着、弓ニ矢ヲツガヘテ旅人ヲ射ント
セリ。危シ、危シ何故ニ旅人ハ早ク逃ゲザ
ルヤ。彼レハ人ニ非ズかがナリ。かが
ハ藁ヲ以テ人ノ形ニ作りシ者ナリ。か
がイヲ立ツレバ鳥モ獸モ恐レテ田畑ヲア
ラスコトナシ。

見物。第二

博覽會 出品 細工 職人

瀬戸物 漆 骨 生絲 優劣

追 勉 便利 求 器械

土産 工夫 勵

田舎ヨリ東京見物ニ出ヅル人ハ中ニハ
唯ノ賑ハシキ有リ様ノミヲ見テ國ニ歸
ル人多シ。今此ノ旅人ハ東京ニ行キテ何
ヲ見ントスルカ。今年ハ博覽會ヲ開カレ

タレバ之ヲ一見セバヤトテ國ヲ出デシナ
リ。

汝等ハ博覽會ノ何物ナルヲ知レルカ。
博覽會ハ博ク覽ルノ會ニシテ國國ノ人人
ガ種種ノ物ヲ出品スル所ナリ。其ノ品ニ
ハ古キモノモアラシ新シキモノモアラシ。
古キモノハ昔ノ名人ノ細工物等ニシテ皆
珍シキモノナルベシ。新シキ物ノ中ニノ
今ノ職人ガ工夫ヲコラシテ作り出デタル

瀬戸物、漆、細工、織り物等モアラン。又農夫
ガ骨折リテ作り出デタル米、綿、生絲、繭等ノ
出品モアラン。

カク國國ヨリ集メタルコトナレバ其ノ
數多ク其ノ品ニ優劣アルベシ。今此ノ旅
人モ此ノ博覽會ニ出品セシ人人ナラン。
此ノ人人ハ己レノ出品ガ他人ノモノヨリ
劣リタル時ハ自勵ミテ工夫ヲコラスベク、
他人ノモノヨリ優リタル時ハ益勉メテ他

人ニ追ヒ付カレザランコトヲ勵ムナルベ
シ。昔ノ名人ノワザヲ見ル時ハ亦之ニ劣
ラザランコトヲ勉ムルナルベシ。便利ナ
ル器械アル時ハ求メ歸リテ之ヲ用フルコ
トナルベシ。此ノ人人ノ持チ歸ルベキ東
京土産ハ煙管、錦繪、淺草、海苔等ニアラズシ
テ新シキ知識ナルベシ。

帝國。

戶長役場 世話 締邊 郡
 支配 縣廳 人民 往來 隣 餘
 政府 帝國

町村ニハ戶長役場アリ。戶長役場ニテハ學校ノ世話ヲシ、又ハ町村内ノ道普請ヲ世話シ、スベテ町村内ノ取り締メヲナス。此ノ邊ノ町町村ヲ集メテ一郡トシテ世話フスル大ナル役場アリ。其レハ郡役

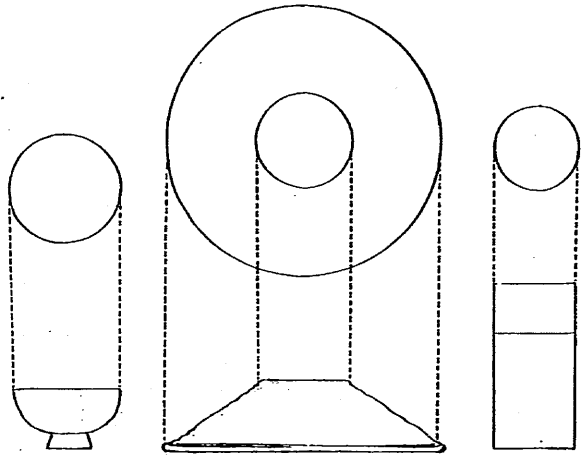
所ナリ。又多クノ郡ヲ集メテ一縣トシテ支配シ、世話スル役所アリ。コレヲ縣廳ト云フ。縣廳ハ繁昌ナル町ニ立チテ、支配下ノ人民等常ニ往來セリ。汝等ハ何縣ノ何郡ノ何村ニ住ムヤヲ知ルカ。汝等ハ又隣ノ縣ノ名ヲ知レルカ。多クノ縣ヲ集メテ之ヲ支配スルハ政府ナリ。政府ハコノ國ヲ一體ニ支配シ、世話スル所ナリ。

吾レ等ガ住ム國ハスベテ四十餘ノ縣ヨ
リ成リテ之ヲ日本帝國ト云ヘリ。

地圖。

示 横 圓 畫 椀 寫 既 盥 繪

汝ハ茶筒ノ形ヲ知ルナラン。茶筒ヲ立
テテ横ヨリ見レバ圓キ棒ノ如シ。然レド



モ茶筒ノ上ヨリ見レ
バ唯圓キ板ノ如シ。
汝又插鉢ヲ伏セテ見
ヨ。横ヨリ見レバ畫
ケル富士山ノ如クナ
レドモ、上ヨリ見ル時
ハ、唯圓キ形ヲ見ルノ
ミナラン。汝等試ミ
ニ茶椀ノ横ヨリ見タ

ル圖ト上ヨリ見タル圖ヲ畫クベシ。
 スベテ上ヨリ見ル時ト横ヨリ見ル時ト
 其ノ形同ジカラザルコト多シ。地面ノ上
 ヨリ見下シテ其ノ形ヲ寫シタル圖ヲ地圖
 ト云フ。

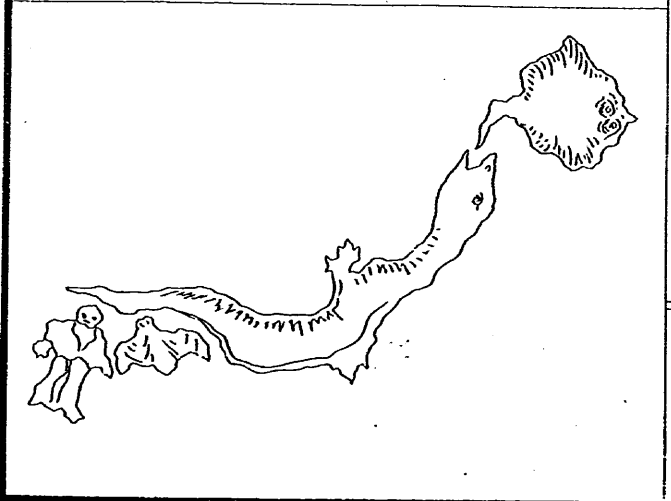
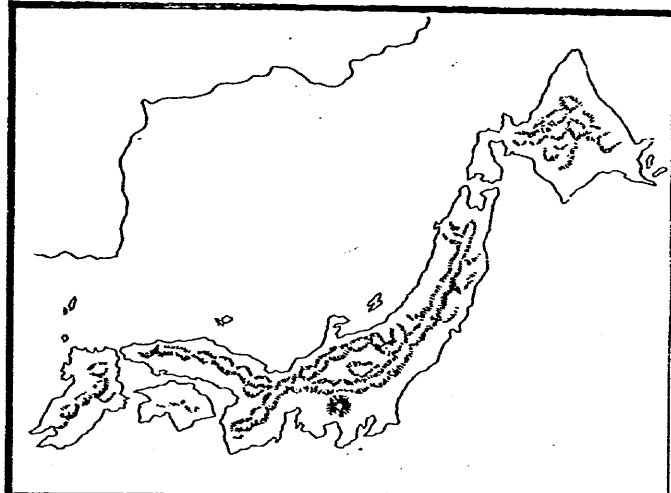
汝等ハ既ニ湖ト島ノ事ヲ學ビタリ。今
 盃ニ水ヲ入レテ湖トシ、様様ノ形ナル石ヲ
 其ノ中ニ置キテ島トセン。汝等各其ノ圖
 ヲ畫ケ。汝等圖ヲ畫キ終ハラバ、余ハ日本

帝國ノ地圖ヲ示サン。

日本地圖ノ一。

書 峙 榮 粒 先程 委 本島
 踊 經 處 九州 何 難 數多
 總 在 蚺蜴 赤鱗 蝙蝠

汝等ハ總ベテ日本帝國ニ住ムコトヲ學
 ビシナラン。日本帝國ハ大キナル島ナル



コトヲモ學ビシナラン。又地圖ノ書キ方
 ヲモ學ビシナラン。コレハ日本帝國ノ地
 圖ナリ。カカル形ヲナシタル島ノ上ニ、高
 キ山ハ峙チ、長キ川ハ流レ、草木ハ榮エ、魚鳥
 ハ遊ビ、吾レモ汝モ住ミ、其ノ他數モ知レザ
 ル多クノ物皆コノ上ニアリ。コノ圖ノ右
 ノ方ハ東ニシテ左ノ方ハ西ナリ。南ト北
 ハ何レノ方ナルカ、汝等各考ヘヨ。
 汝等ガ住メル町、村ハ何レノ邊ニ在ルカ

ヲ教ヘン。汝等ガ知レル山川ハ何レノ邊
 ニ在ルカヲ教ヘン。大キナル日本帝國ヲ
 コノ小サキ紙ニ畫キタレバ汝等ノ町村ハ
 粟粒ヨリモ小サナラン。大キナル町村モ
 唯針ノ先程ナルベシ、川ハ毛ヨリモ細ク、山
 ハ米粒ノ如クナルベシ、故ニ委シキ形ヲバ
 畫キ難シ。

日本帝國ハ四ツノ大キナル島ト數多ノ
 小サナル島島ナリ。其ノ最大キナル島ハ

どかげガ口ヲ開クニ似タリ。コノ蜆蛸ニ
 似タル島ヲ本島ト云フ。本島ノ北ニあか
 江ハノ如キ島アリ。本島ノ西ニ人ノ踊ル
 ガ如キ島アリ。南ノ方ニかふもりノ如キ
 島アリ。

赤罽ノ如キ島ハ北ニアリテ、海ヲ經テ行
 ク處ナレバコレヲ北海道ト云ヘリ。蝙蝠
 ノ如キ島ハ四ツノ國ニ分レタレバ四國ト
 云フ。人ノ踊ルガ如キ島ハ九ツノ國ニ分

レタレバ九州ト云フ。

日本地圖ノ二。

紋並略脈脇印端商
賣大凡週費個千島相
連琉球隔

地圖ノ中ニハ菊ノ花ニ似タル紋多ク並
ビタリ。コレハ山ヲ上ヨリ見タル略圖ニ

シテ紋ノ真中ハ山ノ頂キナリ。カクノ如
キ山山ノ多ク續キタルヲ山脈ト云フ。

汝等ガ知ル如ク東京ハ日本ノ都ナリ、富
士山ハ日本一ノ高山ナリ。ごかげノ右ノ
脇ニ四角ノ印アルハ東京ノ地ナリ。東京
ノ西ニ大キナル菊紋アルハ是レ富士山ナ
リ。富士山ノ西ニ、東ニ、山脈續キテ各本島
ノ端ニ至レリ。ごかげノ腰ノ邊ニ四角ノ
印アルハ京都ノ地ナリ。大坂ハ京都ニ近

キ海邊ノ都會ニシテ商賣繁昌ノ地ナリ。
東京ヨリ京都マデハ百三十里計リアリ、
モレ歩ミテ行カバ大凡ニ週間ヲ費スベシ。
北海道ヨリ九州ニ行カンニハ殆ニ個月ヲ
費スベシ。

北海道ノ東北ニ千島ノ島島相連リ、九州
ノ西南ニ琉球ノ島島相連ル、コレ皆日本ノ
内ナレドモ今委シクハ畫カザルナリ。
汝等再地圖ヲ見ヨ。西北ノ方ニ當タリ、

海ヲ隔テテ大キナル國アリ。コレハ何ノ
國ナルカ、汝等ハ後日ニ學ブ時アルベシ。

三府五港。

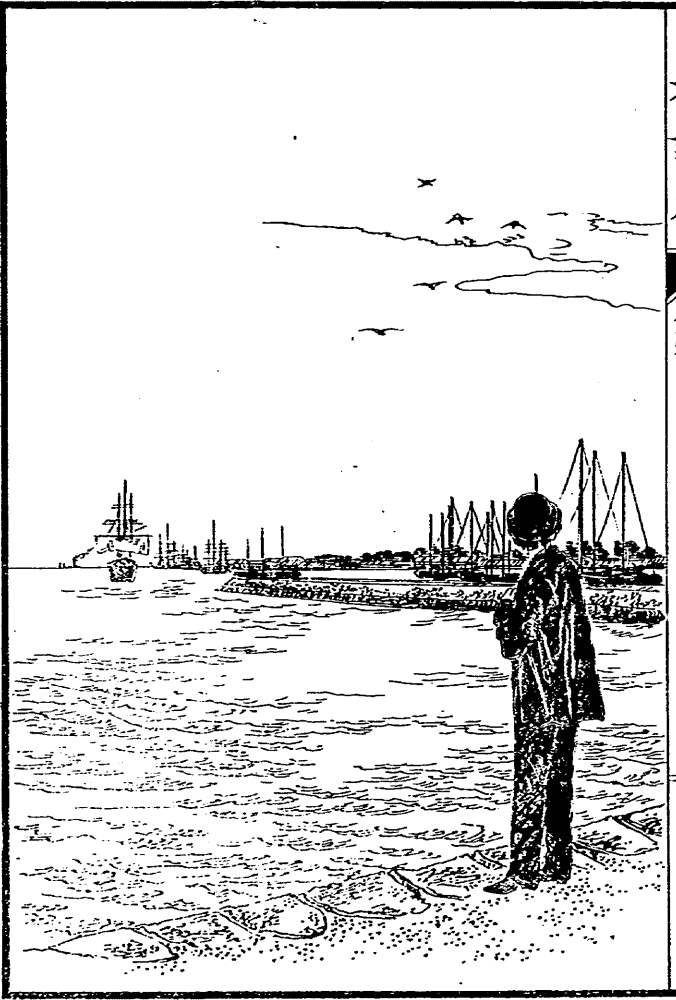
海岸	包	烈	穩	都合	泊	港
横濱	船	送	諸國	交易	出入	
神戸	長崎	佐渡	越後	新潟		
函館	酒	神奈川	兵庫	出張所		

府

汝等ハ既ニ日本地圖ヲ見タリ。今又地圖ニ付キテ見ヨ。東京ハ海岸ニアリテ、其ノ海ハ深ク陸地ニ入りタリ。西京ト四國ノ間ニモ富士山ノ南ニモ、其ノ他處處ニカクノ如キ海アリ。カク陸地ニ包マレテ一方ニ口アル海ヲ入り海ト云フ。

入り海ハ陸地ニ包マルル故風烈シキ日ニモ波穩ナリ、故ニ舟ノクツガヘルコトナ

ク流サルルコトモナシ。サレバ舟ハ入り海ノ岸ノ都合ヨキ處ヲ撰ビテ皆ココニ泊ル、カクノ如キ場所ヲ港ト云フ。東京ノ入り海ニハ横濱ノ港アリ。横濱ニテハ近國ノ産物ヲ集メ船ニ積ミテ他國ニ送ル。他國ノ産物ハ亦横濱ニテ船ヨリ下シ、コレヲ近國ニ送ル。他ノ港モ皆カクノ如シ。故ニ港ハ諸國ノ産物ヲ交易シ出入スル場所ナリ。



大坂ノ西ニ神戸ノ港アリ。九州ニテハ
 右ノ手ノ端ニ長崎ノ港アリ。こかげノ左
 ノ手ニ向カヒテ小サキ島アリ、コレ佐渡ノ
 國ナリ。佐渡ノ國ヨリハ金、銀多ク出ヅ。
 佐渡ニ向カヘバ本島ノ海岸ハ越後ノ國ナ
 リ。越後ニハ新潟ノ港アリ。あかひひノ
 尾ノ端ニハ函館ノ港アリ。
 新潟ノ港ハ越後ノ米ヲ積ミ出ダシ、函館
 ノ港ハ北海道ノ鮭ヲ積ミ出ダシテ之ヲ諸

方ノ港ニ送ル。神戸ノ港ハ亦近傍ノ國國ナル綿酒等ヲ積ミ出ダシテ函館新潟其ノ他ノ港ニ送ル。

横濱神戸長崎新潟函館ノ五ツハ港ノ中ニモ商賣最繁昌ナル地ニシテコレヲ五港ト云フ。日本ノ好キ港ハ東向キ南向キノ海岸ニ多クシテ西向キ北向キニハ少シ。

新潟ニハ新潟縣廳アリ長崎ニハ長崎縣廳アリ横濱ニハ神奈川縣廳神戸ニハ兵庫

縣廳アリ。北海道ニハ今ハ縣ヲ置カレズ故ニ函館ニハ北海道廳ノ出張所ノミアリ。東京京都大坂ハ吾ガ國第一等ノ都會ナリ。此ノ三都會ニハ縣ト云ハズシテ府ト云フ。故ニ東京京都大坂ヲ三府ト云フ。

K120.8

日本書紀

卷之六

明治二十二年一月八日印刷
同 年 同 月 九 日 出 板
定價金七錢五厘

版權登錄

版權所有

東京本郷區駒込西片町十番地

新保磐次

東京日本橋區本町三丁目七番地

原亮三郎

全

印刷者 關幸吉

大阪北久宝寺町四丁目十二番地

大賣捌 金港堂原亮三郎支店

雙臺 金港堂支店

賣捌 各府縣下代理大賣捌所

